

施策評価シート（平成25年度実績評価）

◎ 施策の基本情報

総合計画中期プラン	政策No.	2-6	政策名	健康づくりの推進	政策の 目指す姿	心身ともに健康に暮らしてい ます	施策 主管課	健康づくり課	施策主管 課長名	伊藤 徳明
	施策No.	3	施策名	地域医療の充実	施策の 目指す姿	安心して必要な医療を受けて います	関係課名			
	現状と課題	・かかりつけ医やかかりつけ歯科医を持つ市民の割合は7割程度（市民アンケート）となっていますが、外来医療の機能分担によるメリットや病診連携の仕組みの理解はまだ不十分な状況にあります。 ・夜間休日、救急時の対応を含め、市民が安心していつでも必要な医療が受けられる環境が求められています。								

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取り組み実績

(1) 地域医療体制の推進

- ・病診連携に関する普及啓発
- ・在宅当番医制による日曜祝日の1次救急確保
- ・花巻保健センターにおける休日歯科診療所の開設
- ・病院群輪番制による2次救急確保
- ・輪番制の当番日以外の救急体制を維持

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値 区分	H23	H24	H25 (基準年度)	H26	H27	H28
かかりつけ医を持っている市民の割合	病診連携や上手な医療機関の利用への市民意識の高まりを示す指標	出典: 市民アンケート（毎年4月実施） 問: 《かかりつけ医》あなたは、現在かかりつけの医療機関や医師を持っていますか。 (1)もっている (2)もっていない (1)と答えた市民の割合	%	目標値				73.0	74.0	75.0
				実績値	72.5	71.9	72.6			
かかりつけ歯科医を持っている市民の割合	病診連携や上手な医療機関の利用への市民意識の高まりを示す指標	出典: 市民アンケート（毎年4月実施） 問: 《かかりつけ医》あなたは、現在かかりつけの歯科や歯科医師を持っていますか。 (1)もっている (2)もっていない (1)と答えた市民の割合	%	目標値				73.7	74.6	75.5
				実績値	73.2	70.7	71.2			
				目標値						
				実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
	・成果指標に掲げる市民の割合については、それぞれH23からH24にかけて一旦低下した後、H25にかけては再び上昇している。わずかに上下動はあるものの、病診連携にかかる普及啓発の成果が現れていると考える。

4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名	担当課	施策への貢献度	貢献度の判断理由
	事業内容(実績)			
1	病診連携の普及啓発(一般行政経費)	健康づくり課	A	医師不足の解消と救急医療の確保には、まずは市民の適切な受診行動が有効である。
	上手な医療機関のかかり方(病診連携)を自治公民館等で説明			
2-1	救急医療確保事業	健康づくり課	B	一次救急医療の体制確保に、有効である。(内科・外科)
	日曜祝日の休日当番医 (休日当番医の受診者数 ㉔ 5,621→㉕ 5,385人)			
2-2	救急医療確保事業	健康づくり課	B	一次救急医療の体制確保に、有効である。(歯科)
	休日歯科診療所の開設 (休日歯科の受診者数 ㉔ 373→㉕ 379人)			
2-3	救急医療確保事業	健康づくり課	A	二次救急医療の体制確保に、有効である。(中部医療圏に5病院)
	夜間・休日の2次救急医療の確保 (輪番制病院の利用市民 ㉔ 1,220→㉕ 1,164人)			

5 施策を構成する事務事業の検証

(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか)

(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)

(新たに取り組むべき事業はないか)

・5年先、10年先を見据えた地域医療ビジョン(医療供給体制)を検討する。

6 施策の総合的な評価

(課題)

- ・勤務医不足から救急医療体制の維持が困難になっている。
- ・産婦人科、小児科、耳鼻咽喉科が特に不足している。

(今後の方向性)

・救急医療体制の維持、診療科目の不足、入院ベッドの確保、これらに一体で対応するには市の中心部に「総合病院」を確保する必要がある。地域医療ビジョンの検討を踏まえ、市として出来る具体的な取り組みを行う。